

# 令和4年度 第3回和良地域協議会（明宝との交流会） 会議要録

■日 時 令和4年8月8日（月） 19：30～21：00

■場 所 明宝コミュニティセンター多目的ホール

## ■出席者

（和良地域協議会委員）

永井秋勝、吉田茂広、長尾亨、池田肇、蒲智美、加藤真司、中村充、粥川和雄

（和良地域協議会顧問）兼山悌孝議員

（和良地域協議会事務局）岩尾所長、三輪課長、山本、蒲、酒井

（欠席）蒲敏裕、池戸祐芳、熊崎尚毅、佐野みゆき、藤村美千代、大澤克幸、岩出真弥、兼山百樹

（明宝地域協議会委員）

和田勝美、高田昌成、畑佐 晴之、鈴木富士夫、和田浩二、二村美保、山本晋、奥村将典、置田優一、  
和田武久

（明宝地域協議会顧問）清水敏夫議員

（明宝地域協議会事務局）山田所長、高田課長、置田

（欠席）末武清文、蒲昌範、清水奈美江、小林弥生、下田葉子、西脇徳近、石田五秀、秋柄美紀、  
元満真道

## ■会議内容

1. 開 会 明宝振興事務所：高田課長

2. あいさつ

明宝地域協議会畑佐会長、 明宝振興事務所山田所長

3. 自己紹介

4. 各地域協議会の取組紹介

（1）これまでの主な取り組みについて説明

明宝振興事務所：置田説明、和良振興事務所：酒井説明

（2）本年度の体制及び取り組みについて

明宝振興事務所：高田課長説明、和良振興事務所：酒井説明

5. 意見交換・グループワーク

<p><b>第1班【メンバー】</b> 明宝：高田昌成、山本晋、和田武久、置田晋央 和良：加藤真司、兼山議員</p>
<p><b>【書記】</b> 山本晋 <b>【発表者】</b> 加藤真司</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の魅力について、いろんな地域資源があり活用していきたい。和良であれば鮎やホテル。直接お金にならなくても、その活動がいろんなことに繋がっていき、移住や定住が推進されれば良いと思う。</li> <li>・情報の発信について、今は観光の事は観光協会、地域づくりの事はそれぞれの団体で行っている。様々な情報を一元管理し、SNS で上手に発信していく必要があり、そういった事ができる人材の確保が必要。</li> <li>・人口減少が進んでいくが、明宝と和良など近隣地域で連携できる事は連携し、地元のいいところをPR していきたい。ただ空気や水がきれいと言うのではなく、水がきれいだからこんな生物がいるんだと伝えるなど具体的な説明が必要。</li> <li>・地域協議会のテーマとして、漠然としたものではなく具体的にどう活動するのかを協議したい。例として、石徹白では小学校を残すためにどんな活動をすればよいかなどを協議している。</li> </ul>

<p><b>第2班【メンバー】</b> 明宝：和田勝美、奥村将典、清水議員 和良：蒲智美、吉田茂広、岩尾所長、蒲樹</p>
<p><b>【書記】</b> 蒲智美 <b>【発表者】</b> 奥村将典</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・人口減少の問題について、団塊の世代ジュニアがポイントになるのでは。自分たちの子供をいかに地元に残せるか戻せるか。U ターンの推進が必要であり、市全体の問題でもある。</li> </ul>

<p><b>第3班【メンバー】</b> 明宝：畑佐晴之、鈴木富士夫、和田浩二、高田課長 和良：長尾亨、池田肇、粥川和雄</p>
<p><b>【書記】</b> 和田浩二 <b>【発表者】</b> 畑佐晴之</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・和良も福祉有償運送を行っているが、診療所が近いところにあり赤字経営となっている(利用距離が短い)。今後、ふる里めいほうと協力し、効率的で充実した事業を行えると良い。</li> <li>・各地区でサロンが行われているが、男性の参加が少ない。ソバ打ちなど男性が参加しやすいものを行ってはどうか。</li> <li>・両地区とも同程度の人口であるが、自治会の数は明宝が7 地区、和良が1 5 地区と倍近い。自治会の再編が必要ではないか。</li> <li>・移動販売を地域の見守りも含め行っている。利用者を増やすため、サロンの実施日に合わせて行っはどうか。</li> </ul>

<p><b>第4班【メンバー】</b> 明宝：二村美保、置田優一、山田所長 和良：永井秋勝、中村充、三輪課長</p>
<p><b>【書記】</b> 置田優一 <b>【発表者】</b> 置田優一</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・和良の郷総合開発(株)について、道の駅や運動公園、キャンプ場の運営など市の指定管理を受け行っている。将来的には地域運営組織となるのでは。</li> <li>・和良では集落点検を続けているが、最近は下降気味。ただ、ホテルの取り組みや芝桜を植えてライトアップしたり、上土京や鹿倉では地域支援隊という自主的な地域の見守り組織が立ち上がるなど、一部の地域では機運が高まっている。</li> <li>・和良鮎はブランドとして認知されているがクレームもあり、今後どう維持していけばよいか難しい。</li> <li>・濃飛横断自動車道の開通を見据え、和良がどういう姿になるのか。開通後の夢を子どもたちと共有し、作文に書いたりポスターを制作するなどしていきたい。</li> </ul>